

建築物基本番号□-□□-□□-□□-□□□□-□
センター受付番号

第三十六号の六様式（第六条、第六条の二の二関係）（A4）

定期検査報告書
(建築設備（昇降機を除く。）)

(第一面)

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。この報告書に記載の事項は
事実に相違ありません。

立川市長 様

令和 年 月 日

報告者氏名	立川市長 酒井大史	印
検査者氏名		印

- 【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】 タチカワシチョウ サカイダイシ

【ロ. 氏名】 立川市長 酒井大史

【ハ. 郵便番号】 190-8666

【ニ. 住所】 東京都立川市和泉町1156番地の9

【ホ. 電話番号】 042-523-2111
- 【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】 タチカワシチョウ サカイダイシ

【ロ. 氏名】 立川市長酒井大史

【ハ. 郵便番号】 190-8666

【ニ. 住所】 東京都立川市和泉町1156番地の9

【ホ. 電話番号】 042-523-2111
- 【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】 東京都立川市上砂町1-13-1

【ロ. 名称のフリガナ】 タチカワシカミストシカン・カミナシドウカン・カミナカイカン・チキフクシサービスセンター

【ハ. 名称】 立川市上砂図書館・上砂児童館・上砂会館・地域福祉サービスセンター

【ニ. 用途】 図書館・児童館・社会教育施設・高齢者デイサービス
- 【4. 検査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】 換気設備: 風量不足あり

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☒ 無

【ニ. その他特記事項】

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
令和 年 月 日		
第 号		
係員印		*

【報告書(副本)返送先】

【連絡先及び次回案内送付先】

(第二面)

建築設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 2 階 地下 0 階
【ロ. 建築面積】 m²
【ハ. 延べ面積】 3,718.8 m²
【ニ. 検査対象建築設備】 ☒ 換気設備 ☐ 排煙設備 ☒ 非常用の照明装置
☒ 給水設備及び排水設備

【2. 確認済証交付年月日等】

【イ. 確認済証交付年月日】 年 月 日 第 号
【ロ. 確認済証交付者】 ☐ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 (号)
【ハ. 検査済証交付年月日】 年 月 日 第 号
【ニ. 検査済証交付者】 ☐ 建築主事 ☐ 指定確認検査機関 (号)

【3. 検査日等】

【イ. 今回の検査】 令和 6 年 10 月 16 日実施
【ロ. 前回の検査】 ☒ 実施 (令和 5 年 10 月 23 日報告) ☐ 未実施
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】 ☒ 有 ☐ 無

【4. 換気設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】
(その他の検査者)
【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員
【ロ. 氏名のフリガナ】
【ハ. 氏名】
【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
【ホ. 郵便番号】
【ヘ. 所在地】
【ト. 電話番号】

【5. 換気設備の概要】

【イ. 無窓居室】 ☐ 自然換気設備 (一 系統 一 室) ☒ 機械換気設備 (22 系統 34 室)
☒ 中央管理方式の空気調和設備 (1 系統 2 室)
☐ その他 (系統 室) ☐ 無
【ロ. 火気使用室】 ☐ 自然換気設備 (一 系統 一 室) ☒ 機械換気設備 (6 系統 6 室)
☐ その他 (系統 室) ☐ 無
【ハ. 居室等】 ☐ 自然換気設備 (一 系統 一 室) ☒ 機械換気設備 (2 系統 1 室)
☐ 中央管理方式の空気調和設備 (系統 室)
☐ その他 (系統 室) ☐ 無
【ニ. 空気調和設備・冷暖房設備】 ☒ 個別パッケージ ☐ 全空気 ☐ ヒートポンプ
☐ ファンコイルユニット併用 ☐ その他 ()
【ホ. 防火ダンパーの有無】 ☐ 有 ☒ 無

【6. 換気設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし
【ロ. 指摘の概要】 風量不足あり
【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☐ 無

【7. 換気設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☒ 無
【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無
【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【8. 排煙設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【9. 排煙設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】 ☐ 階避難安全検証法 (階) ☐ 全館避難安全検証法
☐ その他 ()

【ロ. 特別避難階段の階段室又は付室】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無

【ハ. 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ロビー】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無

【ニ. 非常用エレベーターの乗降ロビーの用に供する付室】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無

【ホ. 居室等】 ☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無

【ヘ. 予備電源】 ☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 蓄電池 ☐ 自家用発電装置 ☐ 直結エンジン ☐ 無

【10. 排煙設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☐ 無

【11. 排煙設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☐ 無

【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無

【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【12. 非常用の照明装置の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【13. 非常用の照明装置の概要】

【イ. 照明器具】 ☒ 白熱灯 (46 灯) ☒ 蛍光灯 (21 灯) ☒ その他 (LEDランプ 2 灯)
 【ロ. 予備電源】 ☒ 蓄電池 (内蔵形) (居室 51 灯、廊下 16 灯、階段 2 灯)
☐ 蓄電池 (別置形) (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ 自家用発電装置 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ 蓄電池 (別置形)・自家用発電装置併用 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ 無 イ: 69 灯 ロ: 69 灯

【14. 非常用の照明装置の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☒ 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】
 【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☐ 無

【15. 非常用の照明装置の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☐ 無
 【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無
 【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【16. 給水設備及び排水設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
 建築設備検査員
 【ロ. 氏名のフリガナ】
 【ハ. 氏名】
 【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 【ホ. 郵便番号】
 【ヘ. 所在地】
 【ト. 電話番号】
 (その他の検査者)
 【イ. 資格】 () 建築士 () 登録第 号
 建築設備検査員
 【ロ. 氏名のフリガナ】
 【ハ. 氏名】
 【ニ. 勤務先】 () 建築士事務所 () 知事登録第 号
 【ホ. 郵便番号】
 【ヘ. 所在地】
 【ト. 電話番号】

【17. 給水設備及び排水設備の概要】

【イ. 飲料水の配管設備】 ☐ 給水タンク (基 m^3) ☒ 貯水タンク (1 基 $10 m^3$)
☐ その他 ()
 【ロ. 排水設備】 ☐ 排水槽 (☐ 汚水槽 ☐ 雑排水槽 ☐ 合併槽 ☐ 雨水槽・湧水槽)
☐ 排水再利用配管設備 ☐ その他 ()
 【ハ. 圧力タンクの有無】 ☒ 有 ☐ 無
 【ニ. 給湯方式】 ☐ 局所式 ☐ 中央式
 【ホ. 湯沸器】 ☐ 開放式燃焼器 ☐ 半密閉式燃焼器 ☐ 密閉式燃焼器
☒ その他 (電気式)

【18. 給水設備及び排水設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☒ 指摘なし
 【ロ. 指摘の概要】
 【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (令和 年 月に改善予定) ☐ 無

【19. 給水設備及び排水設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☒ 無
 【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無
 【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (令和 年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【20. 備考】

【国土交通大臣が定める検査項目の有無】 ☒ 有 (換気・排煙・給排水) ☐ 無

建築物概要書

建築物名称 (立川市上砂図書館・上砂児童館・上砂会館・地域福祉サービスセンター)

[illegible]

(注) 3,718.8

建築物の概要に関する補足事項等

- 1 物品販売とは、百貨店、マーケット又は物品販売業を営む店舗をいう。
- 2 ホテルとは、旅館又はホテルをいう。
- 3 病院とは、病院又は診療所(患者の収容施設があるものに限る。)をいう。

--	--

検査結果表
(換気設備)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		
	その他の検査者		

番号	検 査 項 目 等		検査結果				担当 検査者 番号
			指摘 なし	要是正		既 存 不適格	
1	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）						
(1)	機械換気設備	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の外観	給気機の外気取り入れ口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水等の防止措置の状況	○			
(2)			給気機の外気取り入れ口及び排気機の排気口の取付けの状況	○			
(3)			各居室の給気口及び排気口の設置位置	○			
(4)			各居室の給気口及び排気口の取付けの状況	○			
(5)			風道の取付けの状況	○			
(6)			風道の材質	○			
(7)			給気機又は排気機の設置の状況	○			
(8)			換気扇による換気の状況	○			
(9)	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の性能		各居室の換気量	○			
(10)			中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況	○			
(11)	中央管理方式の空気調和設備	空気調和設備の主要機器及び配管の外観	空気調和設備の設置の状況	○			
(12)			空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況	○			
(13)			空気調和設備の運転の状況	○			
(14)			空気ろ過器の点検口	○			
(15)			冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離				
(16)			空気調和設備の性能		各居室の温度	○	
(17)	各居室の相対湿度	○					
(18)	各居室の浮遊粉じん量	○					
(19)	各居室の一酸化炭素含有率	○					
(20)	各居室の二酸化炭素含有率	○					
(21)	各居室の気流	○					
2	換気設備を設けるべき調理室等						
(1)	自然換気設備及び機械換気設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質		○			
(2)			排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況	○			
(3)			給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ	○			
(4)			給気口、排気口及び排気フードの位置	○			
(5)			給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況	○			
(6)			排気筒及び煙突の断熱の状況	○			
(7)			排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離	○			
(8)			煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況	○			
(9)	自然換気設備	煙突の先端の立ち上りの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）	—	—	—	—	
(10)	機械換気設備	煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況					
(11)			換気扇による換気の状況	○			
(12)			給気機又は排気機の設置の状況	○			
(13)			機械換気設備の換気量		○		
3	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室等						
(1)	防火ダンパー等（外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。）	防火ダンパーの設置の状況					
(2)		防火ダンパーの取付けの状況					
(3)		防火ダンパーの作動の状況					
(4)		防火ダンパーの劣化及び損傷の状況					
(5)		防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無					
(6)		防火ダンパーの温度ヒューズ					
(7)		壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況					
(8)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置					
(9)		連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況					

4	上記以外の検査項目等			
特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月
2(13)	機械換気設備の換気量	レンジフードファンの風量不足	レンジフードファンの交換	予定なし

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36号の6様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 検査対象建築物に換気設備がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第1(ろ)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第1(ろ)欄に掲げる検査事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 1(9)「各居室の換気量」については、法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室(換気設備を設けるべき調理室等を除く。)の換気状況評価表(別表1)を添付してください。
- ⑫ 2(13)「機械換気設備の換気量」については、換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表(別表2)を添付してください。
- ⑬ 4「上記以外の検査項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている検査項目等を追加し、⑥から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、4は削除して構いません。
- ⑭ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ⑮ 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

検査結果表
(非常用の照明装置)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		D90050125
	その他の検査者		

番号	検 査 項 目 等		検査結果			担当 検査者 番号
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格	
1	照明器具					
(1)	非常用の照明器具	使用電球、ランプ等	○			
(2)		照明器具の取付けの状況	○			
2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家発電装置					
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能	○			
(2)	照度	照度の状況	○			
(3)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況	○			
(4)	配線	配電管等の防火区画の貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	○			
3	電源別置形の蓄電池及び自家発電装置					
(1)	配線	照明器具の取付けの状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）				
(2)		電気回路の接続の状況				
(3)		接続部（幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況				
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の配線の耐熱処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）				
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況				
(6)		蓄電池設備と自家発電装置併用の場合の切替えの状況				
4	電池内蔵形の蓄電池					
(1)	配線及び充電ランプ	充電ランプの点灯の状況				
(2)		誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況				
5	電源別置形の蓄電池					
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況				
(2)		蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況				
(3)		蓄電池室の換気の状況				
(4)		蓄電池の設置の状況				
(5)		蓄電池の性能				
(6)		電圧				
(7)		電解液比重				
(8)		電解液の温度				
(9)	充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況				
(10)		キュービクルの取付けの状況				
6	自家発電装置					
(1)	自家発電装置	自家発電装置等の状況				
(2)		自家発電機室の防火区画等の貫通措置の状況				
(3)		発電機の発電容量				
(4)		発電機及び原動機の状況				
(5)		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況				
(6)		始動用の空気槽の圧力				
(7)		セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況				
(8)		燃料及び冷却水の漏洩の状況				
(9)		計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況				
(10)		自家発電装置の取付けの状況				
(11)		自家発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る。）				
(12)		接地線の接続の状況				
(13)		絶縁抵抗				
(14)	自家発電装置の性能	電源の切替えの状況				
(15)		始動の状況				
(16)		運転の状況				
(17)		排気の状況				
(18)		コンプレッサ、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況				

7	上記以外の検査項目等				
特記事項					
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月	

検査結果表
(給水設備及び排水設備)

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者		
	その他の検査者		

番号	検 査 項 目 等		検査結果			担当 検査者 番号
			指摘 なし	要是正	既 存 不適格	
1	飲料用の配管設備及び排水設備					
(1)	飲料用配管及び排水配管（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	配管の取付けの状況	○			
(2)		配管の腐食及び漏水の状況	○			
(3)		配管が貫通する箇所の損傷防止措置の状況	○			
(4)		継手類の取付けの状況	○			
(5)		保温措置の状況	○			
(6)		防火区画等の貫通措置の状況	○			
(7)		配管の支持金物	○			
(8)		飲料水系統配管の汚染防止措置の状況	○			
(9)		止水弁の設置の状況	○			
(10)		ウォーターハンマーの防止措置の状況	○			
(11)		給湯管及び膨張管の設置の状況	○			
2	飲料水の配管設備					
(1)	飲料用の給水タンク及び貯水タンク（以下「給水タンク等」という。）並びに給水ポンプ	給水タンク等の設置の状況	○			
(2)		給水タンク等の通気管、水抜き管、オーバーフロー管等の設置の状況	○			
(3)		給水タンク等の腐食及び漏水の状況	○			
(4)		給水用圧力タンクの安全装置の状況				
(5)		給水ポンプの運転の状況	○			
(6)		給水タンク及びポンプ等の取付けの状況	○			
(7)		給水タンク等の内部の状況	○			
(8)		給湯設備（循環ポンプを含む。）	給湯設備（ガス湯沸器を除く。）の取付けの状況	○		
(9)			ガス湯沸器の取付けの状況	○		
(10)			給湯設備の腐食及び漏水の状況	○		
3	排水設備					
(1)	排水槽	排水槽のマンホール大きさ				
(2)		排水槽の通気の状況				
(3)		排水漏れの状況				
(4)		排水ポンプの設置の状況				
(5)		排水ポンプの運転の状況				
(6)		地下街の非常用の排水設備の処理能力及び予備電源の状況				
(7)		排水再利用配管設備（中水道を含む。）	雑用水の用途			
(8)			雑用水給水栓の表示の状況			
(9)			配管の標識等			
(10)			雑用水タンク、ポンプ等の設置の状況			
(11)			消毒装置			
(12)	その他	衛生器具	衛生器具の取付けの状況	○		
(13)		排水トラップ	排水トラップの取付けの状況	○		
(14)		阻集器	阻集器の構造、機能及び設置の状況	○		
(15)		排水管	公共下水道等への接続の状況	○		
(16)			雨水排水立て管の接続の状況	○		
(17)			排水の状況	○		
(18)			掃除口の取付けの状況	○		
(19)			雨水系統との接続の状況	○		
(20)			間接排水の状況	○		
(21)			通気管	通気開口部の状況	○	
(22)			通気管の状況	○		

4 上記以外の検査項目等				
特記事項				
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36号の6様式第二面16欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 検査対象建築物に給水設備及び排水設備がない場合は、この様式は省略して構いません。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第4(ろ)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第4(ろ)欄に掲げる検査事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑪ 4 「上記以外の検査項目等」は、第2ただし書の規定により特定行政庁が検査項目等を追加したとき又は第2第2項の規定により検査の方法を記載した図書があるときに、特定行政庁が追加した検査項目等又は第2第2項に規定する図書に記載されている検査項目等を追加し、⑥から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目等がない場合は、4は削除して構いません。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあって特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ⑬ 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別表1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（A4）

測定年月日	令和 6 年 10 月 16 日	測定機器 メーカー名	日本カノマックス(株)		型式番号等		MODEL6006
階	室名	必要換気量(m ³ /h)	換 気 方 式	換気設備機種名 ^{*注1)}	換気状況の評価 ^{*注2)}		判 定
2	上砂図書館図書室	1802.4	一種・二種・三種	外気処理ユニット	二酸化炭素含有率601	ppm	指摘なし・要是正
2	〃 事務所	163	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	172	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 休憩室	19	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇2系統	116	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 録音室	37	一種・二種・三種	外気処理ユニット	53	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 書庫	169	一種・二種・三種	換気扇	401	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	社会教育施設会議室	239m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	259	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 事務室	81m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	293	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 印刷室	30m ³ /h	一種・二種・三種	換気扇	54	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 保育兼お話室	85m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	207	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 第一実習室	213m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	259	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 和室	435m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	443	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 音楽室	23.2m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	117	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 スタジオ	51m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	109	m ³ /h	指摘なし・要是正
2	〃 ホール(講堂)	1774m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇2系統	611	ppm	指摘なし・要是正
2	〃 ロビー	202m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇2系統	603	ppm	指摘なし・要是正

注1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。

注2) 「換気状況の評価」欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。

これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別表1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表2（A4）

測定年月日	令和 6 年 10 月 16 日	測定機器 メーカー名	日本カノマックス(株)		型式番号等	MODEL6006
階	室名	必要換気量(m ³ /h)	換 気 方 式	換気設備機種名*注1)	換気状況の評価*注2)	判 定
1	児童館遊戯室	624m ³ /h	一種・二種・三種	エハンドリングユニット	615 ppm	指摘なし・要是正
1	〃学童保育室	585m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	655 ppm	指摘なし・要是正
1	〃休憩室	48m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	128 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃事務所	144m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	158 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃グループ兼サークル室	160m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	172 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃創作室	120m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	128 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃視聴覚室	713m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	721 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃相談室	84m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	91 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	デイサービス活動室-1	522m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	542 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃活動室-2	259m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	302 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃活動室-3	320m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	358 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃食堂室	169m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	178 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃相談室	43m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	97 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃休憩室	34m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	204 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	〃脱衣室	62m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	697 ppm	指摘なし・要是正

注1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。

注2) 「換気状況の評価」欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。

これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別表1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表3（A4）

測定年月日	令和 6 年 10 月 16 日	測定機器 メーカー名	日本カノマックス(株)		型式番号等	MODEL6006
階	室名	必要換気量(m ³ /h)	換 気 方 式	換気設備機種名*注1)	換気状況の評価*注2)	判 定
1	静養室	55m ³ /h	一種・二種・三種	天井換気扇1系統	62 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	事務室	203m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	213 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	更衣室(女子)	42m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	52 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	更衣室(男子)	36m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	38 m ³ /h	指摘なし・要是正
1	ボランティアルーム	55m ³ /h	一種・二種・三種	ロスナイ換気扇1系統	128 m ³ /h	指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正
			一種・二種・三種			指摘なし・要是正

注1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。

注2) 「換気状況の評価」欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。
これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別表2 換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表 (A4)

測定年月日	令和 6 年 10 月 16 日		測定機器 メーカー名	日本カノマックス(株)		型式番号等	MODEL6006	
室番(場所)	使用器具	発熱量(kW)	換気型式(n)	必要換気量(m ³ /h)	開口面積(m ²)	測定風速*注(m/s)	測定風量(m ³ /h)	判 定
社会教育湯沸室	湯沸器	11	40・30・20・2	307	0.085	1.47	450	指摘なし・要是正
第一学習室	ガスレンジ	31	40・30・20・2	1,153	0.18	0.81	525	指摘なし・要是正
児童館学童保育室	ガスレンジ	6.23	40・30・20・2	174	0.085	0.62	190	指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
児童館給湯室	ガスレンジ	6.23	40・30・20・2	174	0.085	0.62	190	指摘なし・要是正
サービスセンター配膳室	ガスレンジ	40.6	40・30・20・2	1,133	1.74	0.8	5,011	指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正

注) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

別表 4 非常用の照明装置の照度測定表 (A 4)

測定年月日	令和 6 年 10 月 16 日	測定機器 メーカー名	日置電機株式会社	型式番号等	LUX HITESTER3421
光源の種類	最低照度の測定場所		最低照度 (lx)	判定	
	階	部屋・廊下等			
白 熱 灯	1F	受水槽室	18	指摘なし・要是正	
蛍 光 灯	2F	上砂会館スタジオ	13	指摘なし・要是正	
その他 (LEDランプ)	2F	上砂会館和室ステージ側	24	指摘なし・要是正	

(別紙)

階 別	測 定 場 所	測 定 位 置 ^{*注1)}	光源の種類 ^{*注2)}	照 度 (lx)
1	児童館風除室	児童館入口	蛍光灯 (内)	14
1	” エントランス	エントランス中央	白熱灯 (内)	20
1	” 廊下	視聴覚室前	蛍光灯 (内)	29
1	” 廊下	事務所前	蛍光灯 (内)	24
1	” 廊下	相談室前	蛍光灯 (内)	25
1	” 廊下	トイレ前	蛍光灯 (内)	24
1	” 廊下	学童保育室前	蛍光灯 (内)	24
1	” 廊下	遊戯室前	蛍光灯 (内)	23
1	” 湯沸室	湯沸室入口付近	蛍光灯 (内)	80
1	上砂地域福祉サービスセンター相談室前	相談室前	白熱灯 (内)	23
1	” 廊下	男子更衣室付近	白熱灯 (内)	21
1	” 風除室	入口風除室付近	白熱灯 (内)	24
1	” 配膳室	出入口付近	白熱灯 (内)	23
1	” 廊下	エントランス入口付近	白熱灯 (内)	20
1	” 廊下	男子トイレ前	白熱灯 (内)	25

注 1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注 2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LEDランプの別及び電池内蔵のものにあっては、(内) と付す。

3年までの間に1回行う検査項目の年度別実施状況表

※ 1年目から3年目までの検査(実施・予定)箇所該当する枠内のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

種類	各建築設備検査結果表における 検査項目番号及び検査項目	1年目検査実施箇所 (令和 4 年 10 月実施)	2年目検査(実施・予定)箇所 (令和 5 年 10 月実施)	3年目検査(実施・予定)箇所 (令和 6 年 10 月実施)
換気設備	評価表(別表1) 1(9) 各居室の換気量 1(10) 中央管理室における制御 及び作動状態の監視の状況	☐ 該当無 ☒ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し) ＜一部実施は実施箇所を下欄に記入＞	☒ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し・当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞	☒ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞
	室内環境測定記録 1(16) 各居室の温度 1(17) 各居室の相対湿度 1(18) 各居室の浮遊粉じん量 1(19) 各居室の一酸化炭素含有率 1(20) 各居室の二酸化炭素含有率 1(21) 各居室の気流	☐ 該当無 ☒ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し) ＜一部実施は実施箇所を下欄に記入＞	☒ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し・当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞	☒ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞
機械排煙 特殊な構造の排煙 加圧防排煙	風量測定記録表(別表3) 1(18) 排煙口の排煙風量 1(19) 中央管理室における制御 及び作動状態の監視の状況	☒ 該当無 ☒ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し) ＜一部実施は実施箇所を下欄に記入＞	☐ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し・当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞	☐ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞
	1(37) 排煙口の排煙風量 1(38) 中央管理室における制御 及び作動状態の監視の状況	☒ 該当無 ☒ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し) ＜一部実施は実施箇所を下欄に記入＞	☐ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し・当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞	☐ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞
	2(24) 遮煙開口部の排出風速	☒ 該当無 ☒ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し) ＜一部実施は実施箇所を下欄に記入＞	☐ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し・当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞	☐ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞
給排水設備及び 再利用・中水	3(7) 雑用水の用途	☒ 該当無 ☒ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し) ＜一部実施は実施箇所を下欄に記入＞	☐ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(次年に繰越し・当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞	☐ 全数を実施 ☐ 実施せず ☐ 一部実施(当年で全数実施) ＜一部実施は実施・予定箇所を下欄に記入＞

初年度(令和 4 年度) ～ 終年度(令和 6 年度)

建築物名称 上砂図書館他3施設

センター受付番号

建築物基本番号□-□□-□□-□□-□□□□-□
行政庁 立川市

第三十六号の七様式（第六条、第六条の二の二、第六条の三、第十一条の四関係）（A4）

定期検査報告概要書
（建築設備（昇降機を除く。））

（第一面）

【1. 所有者】

【イ. 氏名のフリガナ】 タチカワシチョウ サカイダイシ
【ロ. 氏名】 立川市長 酒井大史
【ハ. 郵便番号】 190-8666
【ニ. 住所】 東京都立川市和泉町1156番地の9

【2. 管理者】

【イ. 氏名のフリガナ】 タチカワシチョウ サカイダイシ
【ロ. 氏名】 立川市長酒井大史
【ハ. 郵便番号】 190-8666
【ニ. 住所】 東京都立川市和泉町1156番地の9

【3. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】 東京都立川市上砂町1-13-1
【ロ. 名称のフリガナ】 タチカワシカミストシカン・カミストジドウカン・カミストカイカン・チキフクシサービスセンター
【ハ. 名称】 立川市上砂図書館・上砂児童館・上砂会館・地域福祉サービスセンター
【ニ. 用途】 図書館・児童館・社会教育施設・高齢者デイサービス

【4. 検査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり（☐ 既存不適格） ☐ 指摘なし
【ロ. 指摘の概要】 換気設備：風量不足あり
【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有（令和 年 月に改善予定） ☒ 無
【ニ. その他特記事項】

【5. 不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☒ 無
【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無
【ハ. 不具合の概要】
【ニ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定（令和 年 月に改善予定）
☐ 予定なし（理由：)